

# たたら製鉄から 持続可能な農業へ

島根県奥出雲地域は、江戸時代から明治初めを最盛期として、櫻井家、絲原家など鉄師を中心に「たたら製鉄」が営まれ、稲作、和牛、林業と結びつきながら、製鉄と農業で地域の暮らしと経済を支えてきました。かつて砂鉄を採取するために、水路やため池を設けて山麓丘陵地に水を導く「鉄穴流し」と呼ばれる採掘技術によって山を切り崩し、その跡地は農地に再生しました。

砂鉄採掘に用いた水路やため池は農業用に再利用し、採掘跡地の養分のない痩せ土には土壌改良にソバなどを蒔き、製鉄の運搬に用いた和牛の堆きゅう肥を水田に施用することにより、農業生産性を高めました。

一方、森林資源も循環利用しながら水源涵養力を保全し、限られた水資源を無駄なく供給する水路網、水の利用管理の慣習を受け継ぎ、稲作、和牛、林業を中心とした持続可能な農林畜産業が営まれています。



唯一たたら製鉄を継承



櫻井家住宅(旧鉄師)



絲原家住宅(旧鉄師)

## 農業 食料と生計の保障 自然と共生する循環型農業

- 稲作を中心に、和牛飼養による堆肥の施用、耕畜連携の農業が受け継がれています。
- 稲作と和牛、シイタケ、ソバ栽培と組み合わせた複合的経営が行われています。
- 水稻、和牛、ソバ、特用林産物の生産が本町の農業生産額の約9割を占めています。



仁多米



奥出雲和牛



原木シイタケ



ソバ

## 環境 農業生物多様性 遺伝資源の保存

- 農業を通じて、水田や水路の水辺、畦畔草地、森林の環境が維持されています。
- 農業を通じて、自然生態系が維持保全され、多様な動植物が生息しています。
- 森林の環境が保全されることで、訪花昆虫などの生息地として、ソバなどの結実率を高め、遺伝資源を保存しています。



オキナグサ



アキアカネ



ドジョウ



アカハライモリ



サワガニ



トノサマガエル

## 伝統的な 知識システム 資源の循環利用

- 和牛の排泄物を再利用し、堆肥を施用した土づくりが行われています。【農地の利用】
- 森林を循環利用した木炭、シイタケ等の生産が行われています。【森の利用】
- 水を安定供給するため、水路・ため池の共同による維持管理と、水の利用管理の慣習が継承されています。【水の利用】

## 文化、価値観 及び社会組織



大呂愛宕祭



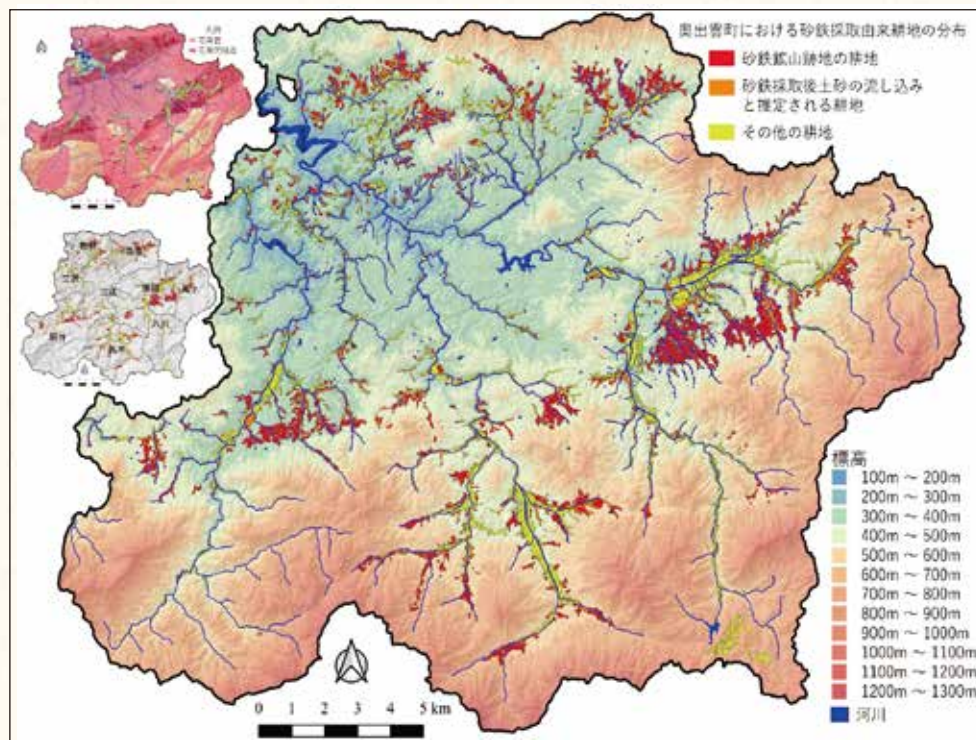
出雲そば



笹巻き

## 景観 ランドスケープ の特徴

### 奥出雲町における砂鉄採取由来耕地の分布



福頼棚田展望台からの眺め(奥出雲町蔵屋方面)  
砂鉄を採掘した跡地は、水路やため池を再利用し棚田を造成しました。



砂鉄採掘の際に残された小山「鉄穴残丘」(奥出雲町稲原)  
小山には墓地やご神木、祠などが祀られ、独特な景観が保全されています。



耕畜循環



堆肥を施用した土づくり



牛糞堆肥「コエグロ」



森林循環

木炭の生産

シイタケなど特用林産物の生産



水管理

水資源を棚田へ安定供給する水路網



水路の決壊を防ぐ排水設備「水落とし」

- 農業を通じた伝統行事、地域の祭りが伝承されています。  
(大呂愛宕祭、阿位押輿神事など)
- 四季と農業、暮らしの中で、郷土食が息づいています。  
(そば、笹巻きなどの食文化)
- 五穀豊穡の祈り、収穫への感謝、牛馬の安全祈願等が地域で行われています。(価値観)
- 水路組合等の水利組織により共同で水路網を維持し、水の利用調整が行われています。(社会組織)
- たたら製鉄の鉄穴流しと呼ぶ砂鉄採掘技術によって山々を切り崩し、広大な農地が開発されました。
- 鉱山跡地を農地に再生し、水路やため池を農業用に再利用しました。
- 四季折々の里地里山や地域固有の景観が農業の暮らしの中で維持保全されています。